



日本植物病理学会ニュース 第75号

(2016年8月)

【名誉会員・永年会員の略歴とお話】

永年会員 児玉不二雄



1941年北海道生まれ、1967年北海道大学農学部農業生物学科卒業、1969年同学科大学院修士課程修了。同年北海道立上川農業試験場に職を得る。病害研究の原点は以下の如し。1969年3月北海道上級職特別選考試験で、試験官が尋ねる。「黒蝕米というのを知っているかね」。

「知りません」と私。「ま、試験場に入ってからしっかり取り組んでもらうか」。かくて4月末に旭川市永山町の上川農試に着任する。黒蝕米は細菌が起す難病とされ、この原因究明と対策のため新人が採用されたのである。過去の報告ではイネ籾の乳熟期が感染時期とされており、この時期の籾に針を刺して細菌を接種する仕事を72年まで続ける。しかし病徴は再現されず、成果は皆無だった。ところがその年、同じ研究室の害虫担当研究員によって、黒蝕米はカメムシによる吸汁（斑点米）であることが明らかにされる。画期的な成果である。一方、新人研究員は涙をのむ。73年夏、富良野地方でタマネギ乾腐病が激発、新聞に大被害の記事が載る。この秋、全道玉葱振興会から乾腐病対策に取り組んで欲しいとの要請書が提出される。11月初旬に富良野の畑で拾い集めた腐ったタマネギが乾腐病との出会いである。研究の主戦場は富良野市の農家圃場で、4,000 m²の畑を富良野農協が準備してくれる。多くの方の支援を得たが、同農協生産課長の菅原之雄さんの職人気質の風貌が忘れがたい。乾腐病の仕事が始まった74年には春から秋まで84日間富良野に滞在し、その大半を自宅に泊めていただき深夜まで語り合った。朝の4時すぎには、階下から声がかかり、実験圃場や農家の病害診断に歩き廻った。出かけるときはいつも地下足袋だった。81年乾腐病の研究で北大より農学博士を授与される。2000年3

月北見農試場長を最後に退職。同年北海道植物防疫協会会長、これを機に自宅に顕微鏡とクリーンベンチを購入。14年より常務理事。薬剤の効果試験を担当して16年目になる。植物病理学会北海道部会（幹事・会長）では但見明俊、小林喜六、近藤則夫の3氏と共に楽しみご苦労をおかけした。末筆ながら、この研究の世界に導いて下さった、泉下の大谷吉雄先生と宇井格先生に満腔の謝意を表する。

永年会員 内藤秀樹



略歴・研究歴：1941年1月13日新潟県生れ。1963年新潟大学農学部卒業後、植物病理学教室助手に採用、非宿主のうどんこ病菌が宿主親和性菌に融合、増殖することを発見。1967年10月農林省東北農業試験場へ出向、当時新病害のイネ褐色葉枯病研究を担当、1971年～1972年、解剖学的研究のため京都大学農学部植物病理学教室へ内地留学。1979年農林水産省九州農業試験場へ転勤、九州～沖縄地域のイネいもち病菌レース分布調査等いもち病抵抗性関連研究、ムギ赤かび病の穂軸病変を指標とした抵抗性簡易検定法を開発。1983年3月「イネ褐色葉枯病の発病機構に関する形態学的研究」で京都大学より農学博士授与。1983年4月愛知県いもち病指定試験地主任として転出、イネいもち病菌レースの変異はイネ上で異レース間の無性的交雑（菌糸融合）で高頻度に起こることを実証。1987年4月農林水産省九州農業試験場へ研究室長として復帰、ムギ赤かび病菌の菌糸融合機構やイネいもち病菌の海外飛来調査を試みた。1990年農林水産省農業研究センター水田病害研究室長として転出、各県農業試験場、防除所のご協力を得て全国のイネいもち病菌レース分布調査、中国雲南省西双版纳、南米ボリビアでいもち病菌の収集調査を行う。また、1998年気象庁観測船に乗り東

シナ海でいもち病菌の海外飛来調査を試みた。イネいもち病の環境保全的防除技術として種子の無病化による防除法を開発、1996年「イネ玄米人工被膜種子、その製造および栽培方法」として特許取得。1999年3月農研センター退職、4月、秋田県立大学教授に赴任。イネ種子の無病化研究を継続、より実用的な無病化玄米種子を開発、栽培試験で実用性を実証、ハウレンソウべと病、大豆紫斑病でも種子表皮剥離無病化技術を開発、これら知見により重要病害根絶思想を提起した。さらに、イネ育苗用土として針葉樹チップの有効性を実証。2007年特任教授、2008年3月定年退職、同年名誉教授。学会活動：評議員1994年度～2003年度、2006年度～2007年度、東北部会長2001年度～2002年度。若い会員諸氏へ：近視眼的にならず関連他分野の知見も学ぶ努力が必要。また不可能だと言われることこそやる意義がある。植物病理の発展を祈ります。

永年会員 吉村大三郎



昭和15年8月27日長崎県生まれ。昭和40年鹿児島大学農学部農学科植物病理研究室卒業、41年農学部専攻科修了。昭和41年4月1日福岡県立農業試験場病害虫部病理研究室に奉職。普通作（水稲、麦、大豆、菜種）の主要病害の発生生態と新農薬の薬剤効果試験に従事した。

病理研究室は横山佐太正室長、吉田桂輔専門研究員との三人で、当時各農薬メーカーと非水銀系殺菌剤の開発に取り組む、特にいもち剤の効果試験が重要課題であった。

昭和43年に農薬残留基準及び農薬安全使用基準が制定され、各県が農薬残留業務に取り組んだ。昭和46年農林省農薬検査所で農薬残留分析技術研修を受け、県単の農薬残留分析事業と環境庁委託農薬残留分析調査、更に農林省委託農薬安全確認分析調査の各事業に取り組む、夏季は病害虫業務、冬季は農薬残留分析業務を行い、専技辞令が出た昭和62年までの16年間は二足草鞋で業務に取り組んだ。

昭和50年に長期技術研修として農林省農業技術研究所病害虫部病理科細菌第2研究室（室長は大畑貫一氏から藤井 溥氏、室員は土屋行夫、植松 勉、塩見敏樹氏）で「イネ白葉枯病の発生生態の解明」をテーマに研修に行ったが、その年に岡山県の稚苗移植苗に苗腐敗症が発生し、植松氏の指導の下に原因解明に取り組む、イネもみ枯細菌病菌によるものであることが判明した。福岡県では60年に総合助成（中核研究）「九州地域におけるイネもみ枯細菌病の

発生生態解明と防除法の確立」の中核県として、協力県は佐賀、鹿児島県で3年間取り組んだ。

昭和62年農政部農業技術課専門技術員甲（病害虫）の辞令を受け、4年間農業改良普及員の指導に当たり、この4年間で、いかに試験研究機関の新技术が農業現場で待たれていることを痛感した。平成3年に病害虫部長、平成5年に八女分場長として茶と中山間地作物の試験に、平成8年に企画経営部長として全場の試験研究課題に対応した。

平成10年に農業総合試験場長を拝命し、平成12年に県を退職し、1年間JAふくれんの営農総括顧問として勤務し、平成13年から平成23年まで九州病害虫防除推進協議会の常務理事として賛助会員（農薬メーカー）と九州各県の農業試験研究機関との農薬委託試験の調整にあたり、最後の年に組織の法人化に取り組み一般社団法人を立ち上げた。

福岡県職34年間、その後の11年間計45年の間無事勤務を全うし、今回日本植物病理学会の永年会員に推挙をいただきました。これもひとえに先輩諸氏の適切なご指導と同僚、後輩諸氏の励まし、援助によるものとあつく御礼申し上げます。病理学会も100周年を経過し今後ますます発展されんことを祈念いたします。

永年会員 善林六朗（執筆ご辞退）

【会員の動静】

1. 人事

(1) 大学関係

西尾善太	H28.4	東京農業大学 農学部 遺伝育種学研究室 准教授
望月知史	H28.4	大阪府立大学 生命環境科学研究科 植物生体防御学グループ 講師
高野義孝	H28.4	京都大学 農学研究科 植物病理学研究室 教授
佐藤幸生	H28.3	[退職 富山県立大学 教養教育 教授]
奥野哲郎	H28.4	龍谷大学 農学部 植物生命科学科 教授
原田 賢	H28.4	龍谷大学 農学部 植物生命科学科 助手
稲垣公治	H28.3	[退職 名城大学 農学部 植物病理学研究室 教授]
森 友花	H28.4	高知大学 総合科学系 生命環境医学部門 研究員
古屋成人	H28.4	九州大学 農学部 植物病理

		学研究室 教授			種 G 上級研
土屋健一	H28.3	[退職 九州大学 農学部 植物病理学研究室 教授]	池田成志	H28.4	農研機構・北農研 大規模畑 作研究領域 研究専門員
関根健太郎	H28.1	琉球大学 農学部 植物病理 学研究室 准教授	佐山 充	H28.4	農研機構・北農研 技術支援 センター業務第3科長 兼 畑 作基盤研究領域 小麦育種 G 主席研
(2) 農水省関連独法関係					
御子柴義郎	H28.3	[退職 農研機構・東北農研 生産環境研究領域長]	石黒 潔	H28.4	農研機構・東北農研 所長
林 長生	H28.3	[退職 生物資源研 遺伝子 組み換え研究センター 耐病 性作物研究開発 U]	善林 薫	H28.4	農研機構・東北農研 企画部 企画室 室長
白川 隆	H28.4	農研機構・企画調整部 企画 管理役 兼 つくば技術支援セ ンター長	今崎伊織	H28.4	農研機構・東北農研 企画部 企画室 企画チーム長
鬼頭英樹	H28.4	農研機構・企画調整部 企画 調整課 主任研	門田育生	H28.4	農研機構・東北農研 生産環 境研究領域長
笹谷孝英	H28.4	農研機構・企画調整部 企画 調整課 つくば技術支援セン ター 観音台業務第2科長	吉田めぐみ	H28.4	農研機構・東北農研 生産環 境研究領域 病害虫 G 上級 研
高橋 章	H28.4	農研機構・経営戦略室 上級 研 兼 生物機能利用研究部門 植物・微生物機能利用研究領 域植物機能制御 U	永坂 厚	H28.4	農研機構・東北農研 生産環 境研究領域 病害虫 G 主任 研
兼松聡子	H28.4	農研機構・人事部 男女共同 参画推進室長	荒井治喜	H28.4	農研機構・中央農研 企画部 産学連携室 産学連携コー ディネーター
日比忠晴	H28.4	農研機構・人事部 人材育成 室 主任研	田澤純子	H28.4	農研機構・中央農研 企画部 産学連携室 産学連携チーム 長
眞岡哲夫	H28.4	農研機構・北農研 生産環境 研究領域長	橋本知義	H28.4	農研機構・中央農研 土壌肥 料研究領域 土壌生物 G グ ループ長
中山尊登	H28.4	農研機構・北農研 生産環境 研究領域 病虫害 G グルー プ長	津田新哉	H28.4	農研機構・中央農研 病害研 究領域長
大木健広	H28.4	農研機構・北農研 生産環境 研究領域 病虫害 G 上級研	吉田重信	H28.4	農研機構・中央農研 病害研 究領域 生態的防除 G グ ループ長
藤本岳人	H28.4	農研機構・北農研 生産環境 研究領域 病虫害 G 任期付 研	山内智史	H28.4	農研機構・中央農研 病害研 究領域 生態的防除 G 上級 研
奈良部孝	H28.4	農研機構・北農研 生産環境 研究領域 線虫害 G グルー プ長	野口雅子	H28.4	農研機構・中央農研 病害研 究領域 生態的防除 G 主任 研
串田篤彦	H28.4	農研機構・北農研 生産環境 研究領域 線虫害 G 上級研	越智 直	H28.4	農研機構・中央農研 病害研 究領域 生態的防除 G 主任 研
上田重文	H28.4	農研機構・北農研 畑作物開 発利用研究領域 テンサイ育	三室元気	H28.4	農研機構・中央農研 病害研

		究領域 生態的防除 G 研究員	高橋真実	H28.4	農研機構・中央農研 水田利用研究領域 北陸病害虫防除 G グループ長
鈴木文彦	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 抵抗性利用 G グループ長	赤松 創	H28.4	農研機構・中央農研 水田利用研究領域 北陸病害虫防除 G 上級研
早野由里子	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 抵抗性利用 G 上級研	竹中重仁	H28.4	農研機構・西日本農研 所長
安田伸子	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 抵抗性利用 G 上級研	中野正明	H28.4	農研機構・西日本農研 四国農業研究監 兼 作物開発利用研究領域長
芦澤武人	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 抵抗性利用 G 上級研	吉岡藤治	H28.4	農研機構・西日本農研 企画部 産学連携室 農業技術コミュニケーター 兼 作物開発研究領域畑作物育種 G
田中 穰	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 病害防除体系 G グループ長	関口博之	H28.4	農研機構・西日本農研 企画部 企画室 企画チーム長
中保一浩	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 病害防除体系 G 上級研	月星隆雄	H28.4	農研機構・西日本農研 生産環境研究領域長
井上康宏	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 病害防除体系 G 上級研	竹原利明	H28.4	農研機構・西日本農研 生産環境研究領域 病害管理 G グループ長
久保田健嗣	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 病害防除体系 G 主任研	富岡啓介	H28.4	農研機構・西日本農研 生産環境研究領域 病害管理 G 上級研
大藤泰雄	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 リスク解析 G グループ長	増中 章	H28.4	農研機構・西日本農研 生産環境研究領域 病害管理 G 主任研
奥田 充	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 リスク解析 G 上級研	野見山孝司	H28.4	農研機構・西日本農研 生産環境研究領域 病害管理 G 主任研
柳澤広宣	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 リスク解析 G 研究員	川口 章	H28.4	農研機構・西日本農研 生産環境研究領域 病害管理 G 任期付研
鈴木清樹	H28.4	農研機構・中央農研 病害研究領域 リスク解析 G 任期付研	伊藤陽子	H28.4	農研機構・西日本農研 作物開発利用研究領域 環境保全型野菜生産 G 上級研
櫻井民人	H28.4	農研機構・中央農研 虫・鳥獣害研究領域 生物的防除 G 上級研	佐藤恵利華	H28.4	農研機構・西日本農研 作物開発利用研究領域 環境保全型野菜生産 G 主任研
植原健人	H28.4	農研機構・中央農研 虫・鳥獣害研究領域 線虫害 G 上級研	中島 隆	H28.4	農研機構・九沖農研 企画部長
			酒井淳一	H28.4	農研機構・九沖農研 リスク管理室 安全管理担当 上級研

平八重一之	H28.4	農研機構・九沖農研 生産環境研究領域長	生産環		生産・流通研究領域 病害 U 上級研
宮坂 篤	H28.4	農研機構・九沖農研 生産環境研究領域 病害 G グループ長	生産環 グループ	藤川貴史	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 病害 U 主任研
園田亮一	H28.4	農研機構・九沖農研 生産環境研究領域 病害 G 主席研	生産環 主席研	大田将禎	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 病害 U 研究員
川上 顕	H28.4	農研機構・九沖農研 生産環境研究領域 病害 G 上級研	生産環 上級研	足立嘉彦	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 カンキツ研究領域 カンキツ 病害虫 U 上級研
井上博喜	H28.4	農研機構・九沖農研 生産環境研究領域 病害 G 上級研	生産環 上級研	富村健太	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 カンキツ研究領域 カンキツ 病害虫 U 主任研
藤原和樹	H28.4	農研機構・九沖農研 生産環境研究領域 病害 G 任期付研	生産環 任期付研	岩波 徹	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域長
大貫正俊	H28.4	農研機構・九沖農研 生産環境研究領域 野菜病害虫管理 G 主席研	生産環 野菜病害虫管理 G 主席研	伊藤 伝	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域 リンゴ病害 虫 U 上級研
富高保弘	H28.4	農研機構・九沖農研 生産環境研究領域 野菜病害虫管理 G 主任研	生産環 野菜病害虫管理 G 主任研	八重樫元	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 リンゴ研究領域 リンゴ病害 虫 U 主任研
高山智光	H28.4	農研機構・九沖農研 園芸研究領域 イチゴ栽培 G 主任研	園芸研 イチゴ栽培 G 主任研	塩谷 浩	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 ブドウ・カキ研究領域長
森脇丈治	H28.4	農研機構・九沖農研 園芸研究領域 施設野菜 G 上級研	園芸研 施設野菜 G 上級研	須崎浩一	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 ブドウ・カキ研究領域 ブド ウ・カキ病害虫 U ユニット 長
小林 晃	H28.4	農研機構・九沖農研 畑作研究領域 サツマイモ育種 G 上級研	畑作研 サツマイモ育種 G 上級研	伊藤隆男	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 ブドウ・カキ研究領域 ブド ウ・カキ病害虫 U 上級研
小林有紀	H28.4	農研機構・九沖農研 畑作研究領域 畑作物生理・遺伝 G 上級研	畑作研 畑作物生理・遺伝 G 上級研	石川浩一	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶病害虫 U 上級研
加藤秀憲	H28.4	農研機構・果樹茶業研究部門 品質育種研究領域 ナシ・ク リ育種 U 主任研	品質育種 ナシ・クリ育種 U 主任研	山田憲吾	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶病害虫 U 上級研
中畝良二	H28.4	農研機構・果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 病害 U ユニット長	生産・流通 病害 U ユニット長	吉田克志	H28.4 農研機構・果樹茶業研究部門 茶業研究領域 茶病害虫 U 上級研
中村 仁	H28.4	農研機構・果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 病害 U 上級研	生産・流通 病害 U 上級研	本多健一郎	H28.4 農研機構・野菜花き研究部門 長
大崎秀樹	H28.4	農研機構・果樹茶業研究部門 生産・流通研究領域 病害 U 上級研	生産・流通 病害 U 上級研	仲川晃生	H28.4 農研機構・野菜花き研究部門 企画管理部リスク管理室長
佐々木厚子	H28.4	農研機構・果樹茶業研究部門			

		兼 機構本部リスク管理部			料作物研究領域 病害虫 U
若生忠幸	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ネギ属 U ユニット長	菅原幸哉	H28.4	農研機構・畜産研究部門 飼 料作物研究領域 病害虫 U
杉山充啓	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ウリ科・イチゴ U 上級研	林 長生	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 企画管理部企画連携室
山口博隆	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜育種・ゲノム研究領域 ゲノム解析 U 上級研	落合弘和	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 企画管理部 リスク管 理室 室長 兼 本部リスク管 理部
窪田昌春	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜生産システム研究領域 生産環境 U 上級研	西澤洋子	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物機能制御 U
染谷信孝	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜生産システム研究領域 生産環境 U 上級研	南 栄一	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物機能制御 U
寺見文宏	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜病害虫・機能解析研究領 域 病害 U ユニット長	菅野正治	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物機能制御 U
大西 純	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜病害虫・機能解析研究領 域 病害 U 上級研	石川雅之	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物微生物機能 U
篠原 信	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜病害虫・機能解析研究領 域 病害 U 上級研	光原一朗	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物微生物機能 U
飯田祐一郎	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 野菜病害虫・機能解析研究領 域 病害 U 主任研	瀬尾茂美	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物微生物機能 U
佐藤 衛	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 花き生産流通研究領域 生産 管理 U ユニット長	西村麻里江	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物微生物機能 U
松下陽介	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 花き生産流通研究領域 生産 管理 U 主任研	秋本千春	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物微生物機能 U
岸本久太郎	H28.4	農研機構・野菜花き研究部門 花き生産流通研究領域 品質 制御 U 主任研	竹内香純	H28.4	農研機構・生物機能利用研究
清多佳子	H28.4	農研機構・畜産研究部門 飼 料作物研究領域 飼料作物育 種 U 主任研			
小坂橋基夫	H28.4	農研機構・畜産研究部門 飼 料作物研究領域 病害虫 U ユニット長			
岡部郁子	H28.4	農研機構・畜産研究部門 飼			

		部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物微生物機能 U 主任研	佐藤仁敏 H28.4	研 兼 調整室 農研機構・種苗管理センター 試験・検査部長
石橋和夫	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 植物・微生物機能利用 研究領域 植物微生物機能 U 主任研	牧野 華 H28.4	農研機構・種苗管理センター 試験・検査部 栽培試験課 主任調査員
中島信彦	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 昆虫制御研究領域長	松田輝子 H28.4	農研機構・種苗管理センター 試験・検査部 種苗検査課 主任調査員
村上理都子	H28.4	農研機構・生物機能利用研究 部門 昆虫制御研究領域 昆 虫微生物機能 U 上級研	牛尾 裕 H28.4	農研機構・種苗管理センター 北海道中央農場 業務第 1 部 主任調査員
溝淵律子	H28.4	農研機構・次世代作物開発研 究センター 稲研究領域 稲 形質評価 U 上級研 兼 ゲノ ム育種推進室	青野桂之 H28.4	農研機構・種苗管理センター 北海道中央農場 業務第 1 部 主任調査員
野田崇啓	H28.4	農研機構・農業技術革新工学 研究センター 土地利用型シ ステム研究領域 収穫・乾燥 調製システム U 主任研	新川 寛 H28.4	農研機構・種苗管理センター 北海道中央農場 業務第 1 部 調査員
堀田光生	H28.4	農研機構・農業環境変動研究 センター 物質循環研究領域 物質変換解析 U ユニット長	福田 豊 H28.4	農研機構・種苗管理センター 北海道中央農場 業務第 2 部 主任調査員 兼 副品種保護対 策役
山元季実子	H28.4	農研機構・農業環境変動研究 センター 物質循環研究領域 物質変換解析 U 主任研	不破秀明 H28.4	農研機構・種苗管理センター 北海道中央農場 後志分場 主任調査員
荒城雅昭	H28.4	農研機構・農業環境変動研究 センター 環境情報基盤研究 領域 昆虫分類評価 U 主席 研	鈴木 敦 H28.4	農研機構・種苗管理センター 十勝農場長
青木孝之	H28.4	農研機構・遺伝資源センター 微生物分類評価チーム チー ム長 兼 調整室	三橋由香理 H28.4	農研機構・種苗管理センター 西日本農場 業務第 2 部 調 査員
澤田宏之	H28.4	農研機構・遺伝資源センター 微生物分類評価チーム 主席 研	小野塚信哉 H28.4	農研機構・種苗管理センター 西日本農場 業務第 3 部 調 査員
一木珠樹	H28.4	農研機構・遺伝資源センター 微生物分類評価チーム 上級 研	河辺邦正 H28.4	国際農研 企画連携部 情報 広報室 連携交流科長
埋橋志穂美	H28.4	農研機構・遺伝資源センター 微生物分類評価チーム 任期 付き研	中島一雄 H28.4	国際農研 プログラムディレ クター（農産物安定生産）
山本伸一	H28.4	農研機構・遺伝資源センター 保存技術・情報チーム 主任	加納 健 H28.4	国際農研 リスク管理室長 兼 コンプライアンス管理科 長
			御子柴義郎 H28.4	農研機構・生研センター 新 技術開発部革新技術創造課
			(3) 都道府県試験研究機関関係	
			美濃健一 H28.4	北海道道立総合研究機構

		花・野菜技術センター 生産環境グループ 研究主幹	山崎周一郎 H28.4	芸研究所 病虫研究室
角野晶大	H28.4	北海道道立総合研究機構 道南農業試験場 生産環境グループ 研究主査	森島正二 H28.4	栃木県農業試験場 病理昆虫研究室 主任研究員
福士好文	H28.4	青森県産業技術センター りんご研究所 県南果樹部長	池田健太郎 H28.4	栃木県農政部 農村振興課 主査
山端直樹	H28.4	青森県農林水産部 食の安全・安心推進課 主査	三木静恵 H28.4	群馬県農政部 技術支援課 普及指導室 園芸技術係 主幹
忠 英一	H28.4	青森県病害虫防除所 主任専門員	宇賀博之 H28.4	群馬県農業技術センター 環境部 病害虫係 独立研究員
十川聡子	H28.4	青森県産業技術センター りんご研究所病虫部 研究員	酒井和彦 H28.4	埼玉県農業技術研究センター 生産環境・安全管理研究担当 担当部長
猫塚修一	H28.4	岩手県農業研究センター 病害虫部病害虫防除課 主査(岩手県病害虫防除所)	横山とも子 H28.4	埼玉県農業技術研究センター 生産環境・安全管理研究担当 主任研究員
辻 英明	H28.4	宮城県古川農業試験場 作物保護部 病害制御班 上席主任研究員	牛尾進吾 H28.4	千葉県農林総合研究センター 土壌環境研究室室長 室長
近藤 誠	H28.4	宮城県農業・園芸総合研究所 園芸環境部 病害制御チーム 研究員	坂本 彩 H28.4	千葉県農林総合研究センター 研究マネジメント室
鈴木智貴	H28.4	宮城県仙台農業改良普及センター 先進技術班 技師	堀 武志 H28.4	東京都農林総合研究センター 生産環境科 研究員
早坂 剛	H28.4	山形県庄内総合支庁 産業経済部 農業技術普及課 経営企画主幹	松澤清二郎 H28.4	新潟県農業総合研究所作物研究センター 栽培科 専門研究員
菊地繁美	H28.4	山形県農林水産部 農業技術環境課 課長補佐	関原順子 H28.4	新潟地域振興局 新津農業振興部 専門普及指導員
菅原 敬	H28.4	山形県病害虫防除所 庄内支所 主任専門防除員	岩田忠康 H28.4	富山県農林水産総合技術センター 農業研究所・病理昆虫課 主任研究員
本田浩央	H28.4	山形県農業総合研究センター 食の安全環境部 開発研究専門員	舟久保太一 H28.4	富山県農業技術課 広域普及指導センター 所長
越智昭彦	H28.4	山形県農林水産部 農業技術環境課 主査	藤永真史 H28.4	山梨県農政部 農業技術課 農業革新支援スタッフ 主幹
渡邊 健	H28.4	茨城県農業総合センター 農業研究所 所長	江口直樹 H28.4	長野県農政部 農業技術課 担当係長
河又 仁	H28.4	茨城県農業総合センター 病害虫防除部 部長	山下 亨 H28.4	長野県果樹試験場 環境部 主任研究員
渡辺賢太	H28.4	茨城県県央農林事務所 経営・普及部門 普及第一課 技師	近藤賢一 H28.4	長野県野菜花き試験場 佐久支場 支場長
林可奈子	H28.4	茨城県農業総合センター 園	天野昭子 H28.4	長野県農政部 農業技術課 副主任専門技術員
				岐阜県農業技術センター 病理昆虫部 部長研究員 兼 部

	長	沼口孝司	H28.4	和歌山県果樹試験場 うめ研 研究所 副主査研究員
堀之内勇人	H28.4 岐阜県健康福祉部 生活衛生 課 食品安全推進室 食品安 全対策係 係長	栗久宏昭	H28.4	広島県立総合技術研究所農業 技術センター 生産環境研究 部 部長
影山智津子	H28.4 静岡県果樹研究センター 生 産環境科 科長	森田剛成	H28.4	広島県立総合技術研究所食品 工業技術センター 技術支援 部 主任研究員
斉藤千温	H28.4 静岡県農林技術研究所 植物 保護科 主任研究員	角田佳則	H28.4	山口県農林総合技術センター 農業技術部 資源循環研究室 病害虫管理グループ 専門研 究員
墨岡宏紀	H28.4 静岡県中遠農林事務所 茶業 農産課 技師	重田 進	H28.4	山口県農林総合技術センター 農業担い手支援部 就農・技 術支援部 主任
三宅律幸	H28.4 愛知県農業総合試験場 環境 基盤研究部病害虫研究室 室 長	井上 興	H28.4	山口県柳井農林事務所 農業 部 部長
小出隆子	H28.4 愛知県農業総合試験場 環境 基盤研究部病害虫防除室 主 任専門員	三好孝典	H28.4	愛媛県農林水産研究所 企画 環境部 部長
恒川健太	H28.4 愛知県農業総合試験場 環境 基盤研究部病害虫防除室 主 任	高橋尚之	H28.4	高知県幡多農業振興センター 技術次長
川上 拓	H28.4 三重県農業研究所 農産物安 全安心研究室 主任研究員	竹内繁治	H28.4	高知県農業技術センター果樹 試験場 次長
有元倫子	H28.4 滋賀県農業技術振興センター 環境研究部 病害虫管理係 主査	梶谷裕二	H28.4	福岡県農林業総合試験場 病 害虫部病害チーム
岡田清嗣	H28.4 大阪府立環境農林水産総合研 究所 経営企画室 副室長	久林高市	H28.4	長崎県農林技術開発センター 農産園芸研究部門 馬鈴薯研 究室 嘱託職員
相野公孝	H28.4 兵庫県立農林水産技術総合セ ンター農業技術センター 所 長	難波信行	H28.4	長崎県病害虫防除所 専門幹
前川和正	H28.4 兵庫県立農林水産技術総合セ ンター農業技術センター病害 虫部 部長 兼 病害虫防除所 長	中村吉秀	H28.4	長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫研究室 専門研究員
神頭武嗣	H28.4 兵庫県立農林水産技術総合セ ンター農業技術センター病害 虫部 主席研究員 兼 研究主 幹	菅 康弘	H28.4	長崎県農林技術開発センター 農産園芸研究部門 馬鈴薯研 究室 主任研究員
平山喜彦	H28.4 奈良県農林部 農業水産振興 課 農産物ブランド戦略係 主任主査	清水マスヨ	H28.4	長崎県北振興局農林部 南 部地域普及課 主任技師
増田吉彦	H28.4 和歌山県果樹試験場 総括研 究員	岡本 潤	H28.4	大分県農林水産研究指導セン ター 農業研究部 病害虫対 策チーム 主任研究員
島津 康	H28.4 和歌山県果樹試験場 かき・ もも研究所 所長	鈴木智範	H28.4	大分県農林水産研究指導セン ター 農業研究部 病害虫対 策チーム 研究員
		櫛間義幸	H28.4	宮崎県総合農業試験場 病害

		虫防除・肥料検査課 課長
早日早貴	H28.4	宮崎県西臼杵支庁 農業経営課 技師
樋口康一	H28.4	鹿児島県大隅地域振興局曾於畑地かんがい農業推進センター 農業普及課 野菜普及係 技術専門員
堀江宏彰	H28.4	鹿児島県庁農政部 食の安全推進課生産環境係 技術主査
尾松直志	H28.4	鹿児島県農業開発総合センター 生産環境部病理昆虫研究室 室長
山下一夫	H28.3	[退職 青森県産業技術センター 野菜研究所病虫部長]
忠 英一	H28.3	[退職 青森県病害虫防除所主幹]
富田恭範	H28.3	[退職 茨城県農業総合センター園芸研究所 研究調整監]
牛尾進吾	H28.3	[退職 千葉県農林総合研究センター 病理昆虫研究室室長]
宮田雄一郎	H28.3	[退職 神奈川県農業技術センター 横浜川崎地区事務所臨時技師]
市川 健	H28.3	[退職 静岡県果樹研究センター センター長]
吉川正巳	H28.3	[退職 京都府農林水産技術センター農林センター 環境部 病害虫防除所長 兼 環境部部長]
川口 章	H28.3	[退職 岡山県農林水産部農産課園芸振興班 主任]
角田佳則	H28.3	[退職 山口県農林総合技術センター 農業技術部 資源循環研究室 (病害虫防除所) 室長 (所長)]
重田 進	H28.3	[退職 山口県農林総合技術センター 農業技術部 土地利用作物研究室 室長]
鳥越博明	H28.3	[退職 鹿児島県農業開発総合センター 生産環境部 部長]

2. 学位取得者 (過程博士・論文博士)

池田幸子	H27.9	北海道大学 大学院農学院博士 (農学) 双子葉植物に雪腐病を起こす <i>Typhula</i> 属菌の分類学および生態学的研究
串田篤彦	H27.9	北海道大学 大学院農学院博士 (農学) 植物寄生性線虫の診断技術に関する研究
林 優作	H28.3	北海道大学 大学院農学院博士 (農学) Studies on ecology and population genetics of <i>Microdochium nivale</i> and <i>M. majus</i> , causal agents of Fusarium head blight on wheat
鶴家綾香	H28.3	東京農業大学 大学院農学生命科学研究科 博士 (国際農業開発学) 東アフリカ産 <i>Rice yellow mottle virus</i> の性状解析および検出法の開発
石原 誠	H27.9	静岡大学 創造科学技術大学院 博士 (農学) シラカシ枝枯細菌病に関する研究
山岸菜穂	H28.3	神戸大学 農学研究科 博士 (農学) セルリー萎縮炭疽病の発生生態の解明と防除技術の開発
森 友花	H28.3	愛媛大学 連合農学研究科 博士 (農学) 宿主植物内における青枯病菌によるバイオフィルム形成の発見とその機構の解明
千秋祐也	H28.3	鹿児島大学 大学院連合農学研究科 博士 (農学) 亜熱帯果樹のウイルスについての集団遺伝学的研究

【学会活動予定】

1. 部会

(1) 北海道部会

日程：平成28年10月19日(水)～20日(木)

場所：かでの2・7 (札幌市)

(2) 東北部会

日程：平成28年9月29日(木)～30日(金)

場所：コラッセふくしま (福島市)

(3) 関東部会

日程：平成 28 年 9 月 29 日（木）～30 日（金）

場所：横浜国立大学（横浜市）

(4) 関西部会

日程：平成 28 年 9 月 29 日（木）～30 日（金）

場所：グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）（静岡市）

(5) 九州部会

日程：平成 28 年 11 月 9 日（水）～10 日（木）

場所：ホテルグランデはがくれ（佐賀市）

2. 談話会・研究会等

(1) 平成 28 年度植物感染生理談話会

日程：平成 28 年 8 月 10 日（水）～12 日（金）

場所：シーパル須磨（神戸市）

(2) 第 12 回植物病害診断教育プログラム

日程：平成 28 年 8 月 29 日（月）～9 月 2 日（金）

場所：法政大学（小金井市）

(3) EBC 研究会ワークショップ 2016（第 12 回）

日程：平成 28 年 9 月 16 日（金）

場所：JA ビル（千代田区）

(4) 第 10 回植物病害診断研究会

日程：平成 28 年 9 月 28 日（水）

場所：グランシップ（静岡県コンベンションアーツセンター）（静岡市）

(5) 第 27 回植物細菌病談話会

日程：平成 28 年 10 月 24 日（月）～25 日（火）

場所：京都府立大学（京都市）

(6) 第 28 回土壌伝染病談話会

日程：平成 28 年 11 月 8 日（火）

場所：ホテルグランデはがくれ（佐賀市）

物の輸出拡大の可能性を探る。

主催：公益財団法人 報農会

協賛：日本応用動物昆虫学会，日本植物病理学会，日本農薬学会，日本雑草学会

日時：平成 28 年 9 月 14 日（水）10:15～17:00

場所：「北とびあ」つつじホール（東京都北区王子 1-11-1）

TEL: 03-5390-1100（会場への連絡はできません）

JR 京浜東北線・地下鉄南北線：王子駅下車，徒歩 2 分

開会：10:15～10:30 挨拶

理事長 田付貞洋

講演：10:30～11:20 耕作放棄地と農地集積が植物保護に及ぼす影響

農研機構農業環境変動研究センター 山中武彦

11:20～12:10 近年多発する獣害について

ーシカ・アライグマ・イノシシー
森林総合研究所野生動物研究領域 岡 輝樹

12:10～13:20 昼食・休憩

13:20～14:10 航空防除の変遷，現状と課題
一般社団法人農林水産航空協会
森田征士

14:10～15:00 超音波を利用した物理的害虫防除技術

徳島県立農林水産総合技術支援センター 小池 明

15:10～16:00 栃木県における農産物輸出に関する取組について

栃木県農政部 高崎 正

16:05～16:45 総合討論

参加費：一般 2,000 円 学生 1,000 円

申込み：参加をご希望の方は，9 月 7 日までに下記連絡先まで E メールまたは FAX で所属・連絡先と氏名をお知らせ下さい。当日，参加費と引き換えにテキストをお渡し致します。なお，当日の参加も可能です。

連絡先：公益財団法人 報農会

事務局：藤田肖子，渡邊敦子

〒187-0003 東京都小平市花小金井南町 1-12-11

BLOSSOM みさと

TEL/FAX: 042-452-7773

E-mail: khono511@car.ocn.ne.jp

【関連学会情報】

第 31 回報農会シンポジウム

『植物保護ハイビジョンー2016』のご案内

ー変わる農業が抱える諸課題に挑むー

趣旨：公益財団法人報農会は，毎年開催するシンポジウム「植物保護ハイビジョン」で，その時々の植物防疫に係わる課題を取り上げてきた。今回は，大きく変わりつつあるわが国の農業が抱える重要課題の中から，農業後継者の不足とそれに関連する諸問題に焦点を当てる。これらの現状をくわしく紹介するとともに，有望な対策法として，省力的かつ IPM と矛盾しない新防除技術の開発，並びに日本の特徴を生かした農産

【書評】

梶原敏宏 著 「普通作物病害図説」
 255 ページ／2016 年 5 月 20 日発行
 養賢堂 ISBN978-4-8425-0545-9 C3061
 定価（本体価格 12,000 円＋税）



植物病害診断のための書として、古くは中田覺五郎氏の「作物病害図編」(1934)が有名でありバイブル的に長年広く利用されてきた。その後、1964 年になって北島 博、梶原敏宏氏により「原色作物病害図説」が出版され、当時は高価だったカラー印刷による病徴写真集は、ビギナーにとっても極めて分かりやすく、海外でも利用されるなど、世

界の植物病害防除上多大な貢献をしてきた。その時代から 55 年余りが経過し、その間、多数の新病害の発生、新病原の発見、病原菌の系統分類学的所属や菌名の変更等があり改訂が必要とされてきた。しかし、共著者の一人北島博氏が他界されたこともあり計画が途絶えていた。この度、著者の梶原敏宏氏が長年にわたり国内外で丹念に記録し続けてこられた諸病害の病徴写真や病原体写真の、差し替えや追加が行われ、記述への加筆・修正が行われて新規出版の運びとなった。なお、最新の外来病害や特殊病害については、それぞれの専門家；日比野啓行、本田要八郎、門田育生、門脇義行、児玉不二雄、大木 理、東岱孝司、月星隆雄、植松 勉の諸氏が分担執筆しており、さらに確度の高い内容となっている。是非ともお薦めしたい一冊である。

(松山宣明)

【学会ニュース編集委員コーナー】

本会ニュースは身近な関連情報を気軽に交換することを趣旨として発行されております。会員の各種出版物のご紹介、書評、会員の動静、学会運営に対するご意見、会員の関連学会における受賞、プロジェクトの紹介などの情報をお寄せいただきたくお願いします。

投稿宛先：〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10

日本植物防疫協会ビル内
 学会ニュース編集委員会
 FAX：03-5980-0282

または下記学会ニュース編集委員へ：

高橋賢司、平塚和之、池田健太郎、吉田重信、越智直

編集後記

学会ニュース第 75 号をお届けします。本号は、今年度推薦された永年会員のご紹介と会員の動静を中心に掲載しました。

新しく 4 名の皆様が永年会員に選ばれました。長年にわたる学会へのご貢献に深く感謝申し上げますとともに、植物病理学、病害虫防除、農業技術開発などにおける国内外での精力的なご活躍に対して敬意を表したいと思います。

今春も多くの方々の異動がありました。ご退職された皆様、長い間大変お疲れさまでした。異動された皆様、心機一転、新しいポストでの益々のご活躍を祈念しております。学位を取得された皆様、おめでとうございます。研究のさらなるご発展を祈念します。

学会の年末までの主な活動予定を掲載しました。部会や談話会・研究会など多くの集いが開催されます。奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

今年 5 月に刊行されました梶原敏宏氏ほか著の「普通作物病害図説」を松山宣明先生にご紹介いただきました。これまで便利な病害図鑑として広く利用されてきました「原色作物病害図説」を引き継ぐこの図鑑も多くの方々に活用されるのではないのでしょうか。
 (高橋賢司)